

KANAGAWA ARTS PRESS

July, 2006

神奈川県総合文化芸術情報誌

神奈川県芸術PRESS71号(通巻75号)2006年7月15日発行(奇数月15日発行)

発行/神奈川県 編集/(財)神奈川県芸術文化財団

●禁無断転載・複写●



Creator's Voice 90	藤原真理	02
芸術活動支援のページ		03&06
神奈川県内・公立施設催し物情報		04&05
特集 アンサンブル・ヴィエナ・コラージュ		07

演奏家は自己管理ができないとだめですよ。
スポーツ選手もそうだけ。
体を使うという意味で同じです。

チェリスト

藤原真理

夏休み恒例の音楽堂公演「子どものための夏の音物語」に登場する藤原真理さん。
アウトリーチ活動を通じての子どもたちとのかわりや、
ステージでの演奏を支える日常についてお聞きました。



今回の音楽堂公演では、
自然の大切さを子どもたちに伝えたい、
という思いを込めた選曲だそうです。

私の子どもの頃は、チェロのお稽古が終わると、よく外で遊び回っていました。当時、家の周りが野原だったこともあり、スズメを取ろうと籠を仕掛けたり、山椒の木についたアゲハの幼虫を学校に持っていったり。近くにそういうことを教えてくれる男の子がいて、雑草で弓矢を作ったり、ザリガニ取りもしました。庭に皿やバケツを並べてフナやメダカも飼いました。自然好きはそのころからかもしれません。

私は、都会に三ヶ月もいると体調が悪くなるような気がするのです。逆に、地方の、特に人里離れた場所に行くと、空気のおいしさや新緑の鮮やかさなどにはっとさせられ、同時に、呼吸が深くなっていくのを感じます。チェロを弾いていて、森の息吹や地球に生かされている感覚に包まれることもあります。人間があって自然があるのではなく、自然があるから人間が生きられると実感するのは、そうした時です。そもそも酸素や水がなければ人間は生きられませんよね。そのことを子どもたちに気づいて欲しい...そういう思いを込めたコンサートです。

小中学校などへの
アウトリーチ活動にも取り組んでおられます。

コンサートで訪れる時にチャンスがあればできるだけ、年に1回以上はそういうことをしようと思っています。続けなければ意味がないので。

今年は1月に東京の小学校、6月には北海道、富良野の中学校の体育館で演奏します。音楽堂公演のアウトリーチで横浜市内の小学校にも行きますね。9月は宮沢賢治のご命日に岩手に行くのですが、その時花巻の小学校にも寄ります。

学校では、小学生の場合は正味20分弾いて、ちょっとお話しして質問を受けるくらいで、子どもたちの集中度を考慮して、授業と同じ40分くらいでやっています。演奏はたいていチェロの名曲のダイジェスト版ですが、いろいろ見聞きしてもらったほうがいいと思うので、現代曲なども少し入れたりしています。ハーモニックス奏法などをやると、ちょっと細かく観察してる子なんかは、「面白い音が出たけど、そういう奏法はよく使いますか?」などという質問をするので、はっとしますね。

そこからお話をひろげて、楽器をつくるのに、すごくいい状態の木というのは、今は手に入りにくくなっている、と話します。そうすると、例えば北海道だと、どこに行っても森はあって空気はおいしくて、子どもたちはそれが当たり前のように思っているわけだけども、「もしその森がなくなる、と想像したら、悲しいよね」と言うと、フーンとかいって、みんな何か考えてますよね。何がきっかけでもいい。それをきっかけにして子どもが自分で考えて、どうして?と質問することが大事なんだと思います。



1年に1度は聖路加病院のチャペルでも演奏しています。小児病棟の子どもたちが主な対象で、時にはストレッチャーの上で聴いている子もいます。病気を抱えている子どもたちなので、集中度が普通と違って、初めて演奏した時は、普通の演奏会の3倍から6倍もエネルギーを吸い取られるような気がしました。やはり相手が人間であっても自然であっても、磁場みたいなものがあって、何かが人間から出ているのかもしれない。演奏は自分ひとりのものではないと実感させられますね。

演奏家として長くご活躍ですし、いつもとても魅力的であられます。体調維持の秘訣は?

最近、新しい浄水器を買って(笑)、そのお水で顔を洗うと肌もすべすべしてとてもいいんですよ。お水もよく飲みますね。

疲れを取るためのジム通いは、始めて5年目になります。ジム、マッサージ、鍼とローテーションで続けていると、体調はいいし、老化へもかなりブレーキをかけられるんだと感じています。私たちの世代は、ひと時代前の同年代よりずっと元気ですね。

できるだけ元気で、生涯現役で最後の最後までやりたいというのが目標です。ま、あんまりはた迷惑にならない程度にね(笑)。チェロはヴァイオリンよりは長く弾けるようで、カザルスは90歳まで演奏してましたね。

いつも心していることは、できるだけしたいこと以外ほしないようにすること。いったん引き受けたことは、よりよい状態で終わられるようにすること。その2つを実現するためにはどうしたらよいかは、自然に答えがでできます。

今日は疲れているからとジムに行かないでいると、筋肉が理想的な状態からどんどん落ちてしまい、翌日の午前中の練習効率が悪くなってしまいます。朝、ごはんを食べて、ちょっとストレッチして、楽器を持って、その日最初にチェロを弾いた時、自分の体のどこにも、伸びにくいとか硬いとかの違和感がなく、音がちゃんと伸びていく、というのが最低限必要なんです。それが整っていないとものすごく不愉快なわけ。でも、それは誰に文句言ってもしょうがなく、全部自分で引き受けなくちゃいけない。そうならないための繰り返しです。だから演奏家は自己管理ができないとだめですよ。スポーツ選手もそうだけ。体を使うという意味で同じです。

(2006年 自宅にて)

子どものための夏の音物語
藤原真理 チェロ・コンサート

平成18年8月27日(日)

14時開演(13時30分開場)

チェロ：藤原真理 ピアノ：倉戸テル

プログラム：

久石譲「風の伝説」(映画『風の谷のナウシカ』より)

「風のとおり道」(映画『となりのトトロ』より)

サン＝サーンス「白鳥」

ベートーヴェン「チェロ・ソナタ第3番」ほか

チケットのお求めは、音楽堂チケットセンター
045-263-2255

*終演後、ホワイエにて交流会を予定しております。

プロフィール

藤原 真理(ふじわら まり) チェリスト

1959年に桐朋学園「子供のための音楽教室」入学、斎藤秀雄に師事。71年に第40回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位および大賞を受賞。75年の東京デビュー・リサイタルにて芸術選奨文部大臣新人賞受賞。フルニエ、ロストロポーヴィチに師事。78年、第6回チャイコフスキー国際コンクール第2位受賞。以後、名実ともに日本を代表するチェリストとして国内外で活躍。CDはDENONレーベルで多数リリース。

オフィシャルサイト <http://www.mari-fujiwara.com>

プロデューサーという仕事がある。大きな意味では芸術と社会の接点を作り、具体的には事業運営のための細かい物事のやりくりをはかる、やり甲斐の大きな仕事である。現在の日本では、劇場付きのプロデューサーなのか制作会社に属するのかフリーなのかで、働き方もまるでちがう不思議な職業だ。各種セミナーを開催する団体はあるが、これといった決め手 = 養成コースがあるわけではない。

「美術」ではなく「美術展」をつくる

県内で、大学生たちを集め、展覧会を作るワークショップ「エキシビジョン・プログラム」を定期的に行っている相模原市民ギャラリーを取材した。

「作品を制作する学生たちはたくさんいて、グループ展もそれなりにおこなわれているんですが、<美術展を作る>学生たちには体験の場がなかなかない。じゃあそういう場を作ってみよう。ただ、作家を集めさせて展覧会するだけじゃ、グループ展と変わらないので、一年半かけて、きちんとテーマをもった美術展を計画させる。「日常解体新書」「空のリレー」と続



相模原市民ギャラリー
学芸員 柳川雅史さん

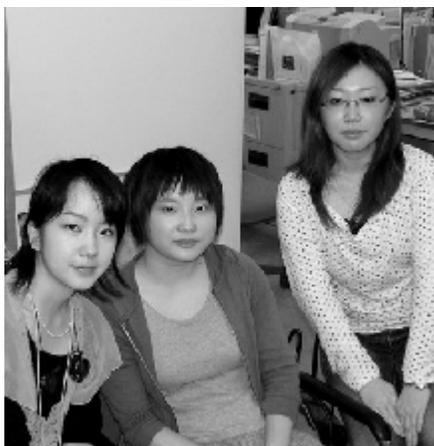


相模原市民ギャラリー 中野若葉さん

いて、三回目の今年のテーマは「アートバカンス!! ~今年のは夏はバカに熱い~」なんですけどね(笑)」と話すのは、同ギャラリー学芸員の柳川雅史さん。

現場の統括をになうスタッフの中野若葉さんがいうには、「集まった学生さんたちを班分けして、それぞれに企画のプレゼンテーションを競わせ、企画決定の後は、

左から受講者の森山さん、平岡さん、平下さん



作家選出・交渉・契約・広報・展示の運営など、展覧会のすべてのプロセスに関わる仕事を体験してもらおうになっています。あくまでも主体は学生です」

本格的な展覧会の進行にひけを取らないこの体験を通して、あすの美術界に羽ばたく人材が生まれてくることを強く祈りたい。

演劇プロデューサーに聞く制作の楽しみ

演劇制作会社R・U・P岩間多佳子

私が制作の仕事をするようになったのは、つかこうへい事務所で俳優をしたときに、つかさんに制作兼秘書みたいなことをやれといわれたのが最初でした。当時、平田満さんや三浦洋一さんなど素敵な俳優さんたちがまわりについて、役者はこの人たちにまかせればいいのかと思って、なんにも分からないままこの道に踏み込んだんです。

最初はフリーでしたが、91年に、いまの会社に入社しました。企画から関わったお仕事では、高田聖子さんをメインに据えた「月影十番勝負」というシリーズがあります。95年からスタートしたプロジェクトで、11年かけて10本のお芝居を上演しました。まだ若いころの高田さんを見て、こんなに演技の力があって面白い人がいるんだ、この人のお芝居をやりたいと思ったのがきっかけだったんです。いくつかある制作者の楽しさのうちのひとつに、「這えば立て、じゃないですけど、公演の回を重ねていくたびに、その俳優さんがメキメキ素敵になっていく場に立ちあえることの喜びって、やっぱりありますね。うちの会社の岡村俊一なんて人を見ると、プロデュースしながら自分で演出もするとき、通し稽古の時から誰よりもいちばんよく泣くし笑うんですね。ああこれもプロデューサーの幸せだなんて感じたりして。それと、毎回思うのは、もしかしたら今日初めて演劇というものを見るお客さんが客席にいたら、その方にお芝居って面白いものだなとぜひ感じていただきたい。その責任感は強く持っています。

いわまたかこ / 51年生まれ。
つかこうへい事務所を経て、R・U・Pに。
「月影十番勝負」をはじめ「東京恋恋」「あずみ」「エビ大王」など多くの舞台に関わる。

キャストは花・スタッフは根

ステージの裏方の仕事を詳解した『THE STAFF』(伊藤弘成著・晩成書房)という本に、こんな言葉がのっている。「キャストは花・スタッフは根」。つまり、自分の体を使って表現をする表方を花にたとえるなら、裏方はその花に息吹を与える根っこだというのだ。

けれど根っこも花も、ひとつの文化活動の中では、役割の違うだけの重要な仕事であることにはわりはない。根っこも、形の違うもうひとつの花なのである。

神奈川県では、劇場の最新の機構や機材がどこまで進んでおり、それをどう使いこなせばいいか、実際の劇場を使用して実際に学ぶワークショップ「劇場技術の現在」をこれまで4回実施してきた。

監修の大野晃

氏(神奈川県民ホール館長)はこういう。「全国にこれだけ文化施設ができて、逆にそれを有効活用する人材が払底してしまっている。そこへのでこ入



神奈川県民ホール館長 大野晃さん

れが、文化芸術をさらに発展させていくために、絶対必要だと考え取り組んでいます」

人材を育てつつ広げるのを目的に、門戸はプロのみならず興味を持つアマチュアにまで開かれているのが特徴。

主催元である県文化課にも話をうかがった。「舞台に関わるすべての人の、基礎技術の基準値を探りたいということ、利用者とともに文化をはぐくむ劇場のあり方について考えたいということ、このワークショップを始めた二つのきっかけです」

来年そうそうに第5回目の講座も予定されているそうで、詳しくは県文化課 045-210-3808に問い合わせを。



▶特集は6ページにつづきます。

横浜地区

横浜美術館 045-221-0300
開催中～9月20日(日)10:00
日本×画展(にほんガテン!)しよく発する6人
一般1000円 大・高700円 中400円

横浜市民ギャラリー 045-224-7920
8月1日(火)～6日(日)10:00
横浜市こどもの美術展 2006
無料

横浜にぎわい座 045-231-2515
8月1日～15日*開演時間は興行による
にぎわい座八月興行
1500円～3500円*興行による

横浜能楽堂 045-263-3055
8月5日(土)14:00
横浜能楽堂開館10周年記念企画公演
『江戸大名と能・狂言』
第1回「江戸城の謡初」
S6000円、A5000円、B4000円(セット券あり)

横浜赤レンガ倉庫1号館 045-211-1515
8月1日(土)15:00 13日(日)15:00
14日(月)19:00 15日(火)14:00
五大路子ひとり芝居「横浜ローザ」
一般3800円(当日4300円)
学生2500円(会場のみで取扱)

横浜みなとみらいホール 045-682-2000
8月2日(火)14:00
～神奈川フィル・楽器ワークショップ2006～
みんなのオーケストラ 発表コンサート
みんなのコンサート
全席指定
大人2,000円、小・中・高校生1,000円
未就学児童の入場不可

8月2日(土)17:00
横浜オペラ未来プロジェクト2006
モーツァルト:オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」
S10,000円(1ドリンク付き)
A 8,000円 B 6,000円 C 4,000円

旭区民文化センター(サンハート)
045-364-3810
9月1日(月・祝)14:00
名手で聴くクラシック - 1
カルテット・イタリアーノ
全席指定 前売3,800円、当日4,000円
ペア1・2セット7,000円(前売のみ)

川崎地区

ミュージア川崎シンフォニーホール
044-520-0200
9月2日(土)14:00
パイプオルガンで巡るヨーロッパ紀行 第5回
「我が愛しのスペイン」
S 2,500円 B 1,800円
第5～6回 Sセット券 4,000円

9月23日(土)14:00
ミュージア川崎シンフォニーホール&
東京交響楽団 名曲全集 第2回
S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円

9月2日(水)12:10/ 18:30
MUZAパイプオルガン
ランチ&イブニングコンサート Vol.3
全席自由 1回券 500円 ペア券 800円

横須賀三浦地区

よこすか芸術劇場 046-823-9999
<http://www.yokosuka-arts.or.jp>
9月3日(日)15:00
第12回東京交響楽団&
米海軍第7艦隊バンドコンサート
アメリカン・サウンド・オブ・ヨコスカ
S 5,000 A 3,500 B 2,500学生半額

9月13日(水)14日(木)19:00
ブロードウェイ・ミュージカル
ウエスト・サイド・ストーリー
S 12,000 A 9,000 B 6,000学生半額

9月16日(土)14:00
松竹新派特別公演
一、新派舞踊「はりませ屏風」
二、新派喜劇「明日の幸福」
S 5,000 A 3,500学生半額

9月2日(金)19:00
夏川りみ Concert Tour 2006～とことわ～
A 4,500 B 3,500学生半額

9月23日(土・祝)15:00
横須賀芸術劇場リサイタル・シリーズ11
仲道郁代ピアノ・リサイタル
S 3,000 A 2,500学生半額

鎌倉芸術館 0467-48-4500
大ホール
8月2日(月)19:00
Wind Harmony Festival
エリック宮城&中川英二郎プロデュース
Super Dream Wind Orchestra
小・中 2,000円 高・大 3,000円 大人 5,000円

小ホール
8月7日(月)13:00
夏休み親子のための狂言の会
小・中 1,300円 高・大 1,700円 大人 4,500円

9月30日(土)14:00
プリンスたちの落語会
全席指定 3,500円

逗子文化プラザホール 046-870-6622
なぎさホール
8月19日(土)14:00
プラザ名画座「スプラウト」
全席自由 前売 500円 当日 700円

9月16日(土)15:00
国際交流まつり アフリカン・エキスポレス
～アフリカの熱い風コンサート～
全席自由 大人(高校生以上)2,000円
子供(0歳以上中学生以下)1,000円
親子ペア券2,500円

9月30日(土)15:00
オーギュスタン・デュメイ&小山実稚恵
デュオリサイタル
全席指定 前売 5,000円
学生 3,000円 ペア 8,000円 当日 5,500円

三浦市民ホール
8月5日(土)18:00
第15回三浦環境芸術の祭典「海潮音」
全席自由 3,000円(当日3,500円)
三浦市教育委員会社会教育課
046-882-1111 内線411

三浦市民ホール

9月24日(日)9:30
第6回三崎甚句・ダンチョネ節コンクール大会
入場無料
轟 清慶(とどろきせい)046-888-2670

湘南地区

平塚市民センターホール 0463-32-2237
8月2日(金)13:00 16:00
レニングラード国立舞台サークラス
全席指定 2,000円(3歳以上有料)

9月23日(土)18:00 24日(日)14:00
創作音楽劇「亀の不思議なおくじもの」
全席自由 2,000円(高校生以下1,000円)

湘南台文化センター(市民シアター)0466-28-1135
9月2日(土)16:00
湘南台トワイライトコンサートシリーズ2006
～シヨパンの肖像～ VOL.2 斎藤雅広
全席指定 2,500円

9月3日(土)14:00
宇宙堂「夢ノかたち～緑の指～」
全席指定 3,500円

藤沢市民会館大ホール 0466-28-1135
9月16日(土)15:00
オペラ「幻想のルチア」
全席指定 S 5,000円 A 4,000円
B 3,000円 C 2,000円

茅ヶ崎市民文化会館 0467-85-1123
大ホール
9月3日(土)18:30
ブダペスト弦楽六重奏団
全席指定 A 5,000円 B 4,000円 学生 2,000円

小ホール
9月23日(土・祝)17:00
杉山清貴 アコースティック・ソロ・ツアー
“Voice of summer '06”
全席指定 5,500円(当日500円増)

秦野市文化会館 0463-81-1211
8月5日(土)15:00
秦野納涼寄席 林家正蔵・いっ平兄弟会
全席指定 3,000円

8月27日(日)15:00
わらび座ミュージカル「銀河鉄道の夜」
全席指定 3,000円(子供1,000円)

9月10日(日)15:00
やまなみ62神谷百子マリンパコンサート
全席指定 3,000円

二宮町生涯学習センター 0463-72-6911
(ラディアン)ホール
9月17日(日)14:00
続・藝づくし東海道五十三次(第五弾)
「金谷宿～白須賀宿に至る
道中ゆかりの伝統芸能を一流の芸人が紹介」
全席指定 4,000円

神奈川県内・公立施設催し物情報(各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい)

電話番号をお確かめの上、お間違のないようお願いいたします。

県央地区

厚木市文化会館 046-224-9999

小ホール
9月16日(土)13:30
女流義太夫「巴の会」
全席自由 3,000円

海老名市文化会館 046-232-3231

大ホール
7月31日(月)19:00
シベリアに抑留された男たちの物語 ダモイ
～収容所から来た遺言～
主演:平田満
全席指定 3,500円

8月3日(木)19:00
小松原庸子主演 真夏の夜のフラメンコ
全席指定 5,000円

8月25日(金)13:00 / 15:30
うたのおにいさん&おねいさん
夏休みファミリーコンサート
全席指定 2,500円

県北地区

グリーンホール相模大野

チケットMov(ムーヴ) 042-742-9999

大ホール
8月31日(休)14:00
夏休み「子どものための音楽会」
全席指定 2,500円 中学生以下 1,000円

9月16日(土)15:00
ウィーンの森バーデン市立劇場 歌劇「フィガロの結婚」
全席指定 S 8,500円 A 7,000円 B 5,500円
65歳以上・学生は全席 2,000円引き

多目的ホール

9月22日(金)19:30
Live Collection 50th Anniversary
中西俊博 Special Session
全席指定 4,000円

杜のホールはしもと ホール

チケットMov(ムーヴ) 042-742-9999

9月8日(金)19:15
シリーズ「杜の響き」vol.17
バリ管弦楽団プラス・クインテット
全席指定 4,000円 高校生以下 2,500円

西湘・足柄地区

小田原市民会館大ホール **募集**

募集期間～8月25日(定員になり次第締切)
公演日 07月25日(日)14:00
「コバケンと歌おう!!」
～市民による第九演奏会～合唱団員募集
募集人員 200名(ソプラノ50名、アルト70名
テノール35名、バス45名)
小田原市役所文化交流課 0465-33-1706
応募要領のダウンロード
http://www.city.odawara.kanagawa.jp

真鶴町立中川一政美術館 0465-68-1128

9月3日(土)～11月2日(日)9:30
(特別展)一政・人を描く
通常料金 600円 + 特別観覧料

南足柄市文化会館大ホール

0465-73-5111
7月9日(日)14:00
ロシアのメンバー達による
室内楽、バレエとオペラ・アリア
全席指定 S 5,000円 A 4,000円

8月19日(土)13:00 / 17:30
松竹新派特別公演
全席指定 SS 6,000円 S 5,000円 A 4,000円

9月3日(日)14:00
劇団東少ファミリーミュージカル
「眠れる森の美女」
全席指定 2,000円

県立施設情報

県立神奈川近代文学館 045-622-6666

中会議室
8月6日(日)
ビデオ「被爆とわたくし」上映会
無料 定員 50名

8月26日(土)
かなぶんキッズクラブ 読み聞かせ
無料 定員 50名

ホール

9月18日(月・祝)
講演会「私の本について話そう」
夏目房之介『孫が読む漱石』
800円 定員 220名

県立青少年センターホール 045-263-4475

8月6日(日)9:30
第2回神奈川県中学校創作劇発表会
無料

県立青少年センターホール 045-263-4475

8月24日(木)15:30
第33回神奈川県青少年ダンス鑑賞会
無料

県立近代美術館 葉山 046-875-2800

8月12日(土)～10月9日(月・祝)
9:30～17:00 入館は16:30まで
作家たちの贈り物 川端実、堀内正和
宮崎進、保田春彦、渡辺豊重、江口週、李禹煥
一般 700円 20歳未満・学生 550円
65歳以上 350円、高校生以下、障害者無料

県立近代美術館 鎌倉 0467-22-5000

8月12日(土)～10月15日(日)
9:30～17:00 入館は16:30まで
昭和の美術
一般 700円 20歳未満・学生 550円
65歳以上 350円、高校生以下、障害者無料

県立相模湖交流センター

042-682-6121
8月20日(日)11:30
Concert for KDS
0才からのクラシック in sagami iko
全席指定 おとな 2,000円
こども(0才～中)1,000円
ベビーカー席 親子ペア)3,000円

9月24日(日)17:30
Sagami iko Jazz Holiday 2006
全席指定
前売り 3,000円 当日 3,500円
未就学児入場不可

県立藤野芸術の家 工房 042-689-3030

7月1日(土)～8月31日(木)9:00～17:00
夏休み限定メニュー・木工「木工セット」
対象 小学生 1,000円

7月22日(土)～8月20日(日)9:00から17:00
夏休み限定メニュー・陶芸
「スクラッチ皿・スクラッチタイル」
スクラッチ皿 1,500円、タイル大 900円、小 600円

7月15日(土)～9月3日(日)9:00～17:00
夏休み限定メニュー・ガラス「オーシャンミラー」
対象 小学3年生以上 1,300円
受付は全メニュー当日 15:00まで随時

column : かながわ伝統芸能ワークショップ Vol.1

盆踊り、お祭りでひときり輝く君! 日本舞踊に学ぶ「和」の作法～おくゆかしい日本文化の香り～ 全4日間

募集 県では、青少年を対象に、日本舞踊を通じて「和」の作法、たしなみを楽しみ学びながら、伝統的生活文化の奥深さと所作を体験するワークショップを開催します。



ワークショップの内容(会場:県立青少年センター 横浜市西区紅葉ヶ丘9-1)

- 1日目 「あいさつ」「正しい姿勢」「着物(浴衣)着る準備」「小道具のいろは」ほか
- 2日目 「着物(浴衣)着る・たたむ」「着物(浴衣)着て動作」「日本の音楽・間拍子・小道具」ほか
- 3日目 「扇子の歴史と役目」「間拍子に合わせて動く」「おすべりの練習」ほか
- 4日目 「着物(浴衣)綺麗に着こなす」「舞台の基礎知識」ほか

日時 8月16日(水)～19日(土)10:00～12:00
講師 社団法人日本舞踊協会会員
応募資格 小・中学生(保護者同伴可)で、4日間通して参加できる方
参加費 2,000円(定員20名応募者多数の場合抽選)
申込方法 往復はがきの往信用欄に参加者の

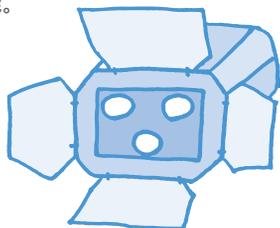
住所、氏名、年齢、学年、性別、学校名、保護者名、電話番号を明記し、下記送付先へ。*返信用はがきにも参加者の住所、氏名を忘れずに。
締め切り 7月20日(消印有効)
送付先・問合せ 〒231-8588 県文化課「日舞」係(所在地を記載しなくても届きます)
TEL045-210-3808 FAX045-210-8840

多彩なステージ効果を生み出すために、さまざまな舞台用機材が考案されているが、ふつうに劇場を借り受けた際に設置されている基本の機材だけでは、なかなか特殊な効果まではおぼつかない。もちろん、個人がレンタル会社などから借り受ける手だてもあるわけだが、それよりは、舞台監督・照明家・舞台美術家など、専門のスタッフの人脈から手配されることの方が一般的なのだ。運のいいときは、目当ての効果マシンに匹敵する装置を、各スタッフが手作りで作ってくれるときすらある。裏方の充実が必要とされるゆえんである。

ここでは、このような機材があればこんな効果が出せるという、代表的な具体例をいくつかあげていきたい。

カッターライト

ハネ板を調節することで、四角や三角の形に明かりをあてることの出来るライト。ネタと呼ばれる仕掛けを仕込むことで、水玉模様など多彩な模様の効果が可能。



ドラム

流れる雲や動く波の効果が出来る照明機材。

ブラックライト

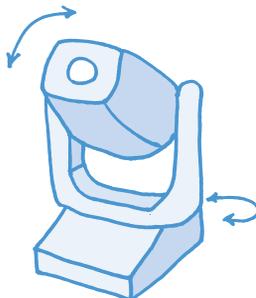
舞台全体を暗く沈ませ、蛍光塗料のかかった白い部分だけをくっきりと浮かび上がらせる特殊なライト。幻想的な雰囲気を生み出せる。

ストロボ

明滅を繰り返す強い光で、人物の動きをバラバラ漫画のように断続させる。

ムービングライト

本体そのものが、四方八方に自動的に回転し、明かりをあてる方向を変えてくれるライト。明かりをつけたまま素早く回転させることで、華やかな効果を生みだしたりも出来るし、消灯中に向きを変えておけば、数体の照明を仕込まなければならないのを一体ですますことも出来る。

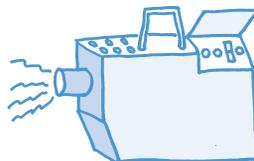


パーライト

レンズが一体化した特別な電球。幅の狭い強い光を出すことが出来る。後述のスモークマシンなどと組み合わせることで、まるで光のカーテンのような効果をステージ上に出現させることも出来る。

スモークマシン

白い煙を吐き出す特殊な機材。煙をどちらかという塊で吐き出すスモークマシンのほかに、霧のように拡散した煙を出すホッグマシンや、床全体に這うように煙を広げてくれるドライアイスマシンなど、用途によっていくつかの種類がある。ただし、マシンによっては危険物取り



扱いとして、公演前に消防署に届け出を出さなければならないものもあるので要注意。

スライドマシンやプロジェクター

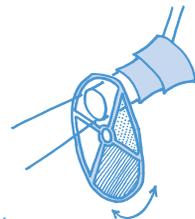
ステージ上に映像を投影する機材。スライドマシンは静止画、プロジェクターは動画を映し出すことが出来る。

しゃぼん玉シーン

多量のしゃぼん玉を作り出し、舞台上に吹き出すことが出来る。

オートチェンジャー

照明に取り付けて複数の色や効果を仕込み、瞬時に切り替える機材。



火のエフェクトマシン

舞台上で本物の火を使うことは、きわめて難しいため、風を送った布に照明をあてて、火のように見える装置を作ることもある。



(情報提供・相鉄本多劇場)

なお、インターネットで、「舞台特殊効果」などの言葉で検索をすると、こうした仕事を請け負う業者のページも探し出せる。

その他、県立青少年センター内演劇資料室では、神奈川県演劇連盟のスタッフが演劇に関する技術の相談にのってくれる(045-263-4400代)。こういったことも活用したい。 P3P6取材・執筆:岡野宏文

column : 観る者からのアプローチ ~アートといわれるものたちと

アートといわれるもの、またはそれを取り巻く環境について、みなさんほどのようなことを思い浮かべたり、感じたりするのでしょうか。作り手の立場からいえば、それは彼らが生きて行く中でそれぞれのやむをえない理由から作品を生み出して行くもので、終わらない旅のようなものではないでしょうか。

観る者としての立場からはどのような方法でアートやその環境に関わるのでしょうか。美術館やデパートの展覧会に行く、ギャラリーに行く、美術館や作家の開催するワークショップに参加する、展覧会のボランティアに参加する、作品を買う、学校に行く、海外で勉強する、等々。各人の経験やあるいは経験がないことによって援助や参加の仕方は様々であってよいと思います。裾野が広く層が厚い方がより豊かな活動を望めることは言うまでもありません。

作り手でない立場でアートを仕事にすることを意識するのであれば、何よりどの舞台で仕事をしたいかでアプローチは変わってきます。とはいえ、プロジェクトの中に、ながらもそれを俯瞰し、よりよい提示の仕方を検討し、社会や経済の仕組みに作り手より直接的に関わっていくことにはなるでしょう。もっと具体的に何かしたい場合、その環境に飛び込んでみるのも一つの方法です。例えばロンドンの私設ギャラリーでの「ワークショップ」。一か月間、ロンドンにあるギャラリーでアーティスト達と共同作業や対話を行ない、展覧会を作りあげていきます。講師達との対話や課外での活動もフォローした珍しいタイプの活動内容になっているようです。新しい発見があると思いますし、一つの経験になるかと思います。

日常生活の雑多で混沌とした中において、同

時に美を見つけていく行為は日本に身を置く私たちにとっては、実はなんら難しいことではないのです。お花見に行き、借景という言葉を用い、野の花を生け、欠けた茶碗のよさもわかる。環境を整え、美しさを共有する力に長けているのではないのでしょうか。そんな感覚をこれからも大事にしていきたいですね。

「The 5th collective」といふ私立ギャラリーのプログラム。今年度の募集は終了したが、来年度も予定している。今年度の募集要項は <http://www.the5thcollective.com/school/detail.pdf>

ムラカモモコ / 福岡県生れ。多摩美大卒。画廊、美術館勤務を経て、フリーディレクター。秋はスペイン大使館での子供地球基金の展覧会に関わる。



#001 シリーズ・ウィーン 音楽堂2006 Vol.2

アンサンブル・ヴィエナ・コラージュ Ensemble Wiener Collage

ウィーン・フィル奏者を中心に結成され、世界で活躍する真のヴィルトゥオーゾたち。モーツァルト、シューベルト、ヨハン・シュトラウスからシェーンベルクまで、2日間にわたりウィーンゆかりの名曲と15曲の初演作品を一挙に紹介します。

公演に寄せて

アンサンブル・ヴィエナ・コラージュの来日公演が、今年の12月に、横浜で2回開催されます。

アンサンブル・ヴィエナ・コラージュは、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリン奏者であり作曲家でもあるルネ・スタール氏が芸術監督を務める室内アンサンブルで、彼らは伝統的なクラシック音楽の演奏はもとより、現在のヨーロッパの最新の音楽作品にも積極的に取り組み、その優れた演奏で世界的に活躍しています。

今回の公演では、モーツァルトやシューベルト、ヨハン・シュトラウス、シェーンベルク、ウェーベルンなど彼らが最も得意としているウィーンの作曲家の作品とともに、日本初演、世界初演を含むヨーロッパと日本の最新の音楽作品の紹介が予定されています。

彼らの演奏によって、時代を超えて受け継がれてきたウィーンの音楽と、その後生まれた新しい音楽作品による歴史の広がりを楽しんでいただければ幸いです。

—柳慧 作曲家・ピアニスト
(財)神奈川芸術文化財団芸術総監督



アンサンブル・ヴィエナ・コラージュ

アンサンブル・ヴィエナ・コラージュは、1986年、20世紀の優れた音楽作品を演奏することを目的として、3人の作曲家ルネ・スタール、エリック・フライターク、ユージン・ハーツェルによってウィーンで設立された。アンサンブルは、主にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーで構成され、これに卓越した技術をもつフリーのソリストを加えて、結成以来70人以上の作曲家の200を超える作品を初演している。明解な作品解釈とそれを実現する高度な演奏技術をもち、常に最高レベルの演奏を実現して世界的に高く評価されている。



写真左から ルネ・スタール(芸術監督・首席指揮者・ヴァイオリン) ヘルンハルト・ペペラウワ(ヴァイオリン) トヴィアス・リー(ヴィオラ) トマス・ヴァルガ(チェロ) ギュンター・フェーダーセル(フルート) シュテファン・ノイパウワ(クラリネット) ヨハンネス・マリアン(ピアノ) アルフレッド・メルヒャ(アコーディオン)

< Aプログラム >

モーツァルト:ピアノ、クラリネットとヴィオラのための三重奏曲 変ホ長調 K498「ケーゲルシュタット・トリオ」

スタール:ピッコロとヴァイオリンのためのジェミニ A5(日本初演) ヨハン・シュトラウス :「南国の薔薇」(シェーンベルク編曲)

—柳慧:スペース・シーン(委嘱作品・世界初演) シェーンベルク:ナポレオンへの頌歌 ほか

< Bプログラム >

リゲティ:無伴奏チェロ・ソナタ ウェーベルン:ヴァイオリンとピアノのための4つの作品・作品7 シューベルト:弦楽三重奏曲 変ロ長調 D 581

ヨハン・シュトラウス :皇帝円舞曲(シェーンベルク編曲) 野平一郎:新曲(委嘱作品・世界初演) クセナキス:ディクタス ほか

日時 12月 9日(土)15:00開演(14:00開場 14:30~ プレトーク) Aプログラム

12月 10日(日)15:00開演(14:00開場 14:30~ プレトーク) Bプログラム

会場 両日とも、神奈川県立音楽堂

主催 神奈川県立音楽堂

助成 芸術文化振興基金  財団法人ロームミュージックファンデーション

後援 オーストリア大使館

料金 全席指定 各日 一般5,000円 学生・シルバー4,500円 2公演セット券9,000円

音楽堂チケットセンター045-263-2255 県民ホールチケットセンター045-662-8866

音楽堂HPから予約 <http://www.kanagawa-ongakudo.com/>

チケットぴあ0570-02-9990 Pコード予約0570-02-9966 [Pコード:227-905] イープラス <http://ep.lus.jp/>

学生・シルバー券は、音楽堂チケットセンター、県民ホールチケットセンターのみで取り扱います。

シルバー券のご利用は満65歳以上とさせていただきます。出演者・曲目は、やむを得ず変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

「巨匠たちのミュージック アルマ・マラーとウィーン世紀末の芸術家たち」9/3(土)公演とのセット券があります。

詳細は、音楽堂チケットセンターまでお問合せ下さい。

第6回かながわ戯曲賞 作品募集

募集期間

7月15日(土)～9月20日(水)必着

審査員長

宮沢章夫

(遊園地再生事業団主宰 / 劇作家・演出家・作家)

審査員

松本修(MODE主宰 / 演出家)

内野儀(演劇評論家)

最優秀賞50万円、佳作10万円 各1本

(源泉所得税込)

最優秀賞作品のドラマリーディング公演は2007年に上演します。

公開審査

12月4日(月)18:30～ 横浜STSスポット

作品のテーマ、題材は自由です。応募資格・応募方法など詳細はHPをご覧ください。

応募・お問い合わせ

財 神奈川芸術文化財団 かながわ戯曲賞係

〒231-0023横浜市中区山下町3-1

TEL045-633-3766

http://www.kanagawa-art.or.jp



宮沢章夫

かながわアートホール

見学ギャラリー

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

リハーサル・ワークショップ公開(予定)無料

7月 15(土) 16(日) 19(水) 20(木)
22(土) 26(水) 27(木) 28(金)

8月 4(金) 9(水) 17(木) 18(金)

9月 8(金)

日時・内容が変更になる場合がありますので、詳細は神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局045-331-400までお問合せください。

休館日

7月(月) 7月10(月) 7月18(火) 7月24(月) 7月31(月)

8月(月) 8月14(月) 8月21(月) 8月28(月)

9月(月) 9月11(月)

横浜市保土ヶ谷区花見台4-2

http://www.kanagawa-arts.or.jp

電話 045-341-7657

県民ホール・音楽堂友の会

「かながわアーツ倶楽部」会員募集

～初年度年会費無料キャンペーン～

チケット先行予約、会員割引料金、チケット送料無料、代金口座引落、ホール周辺の優待利用店など様々な会員特典があります。今なら下記キャンペーン特典もついて、しかも初年度年会費が無料!

新規入会キャンペーン

平成18年7月1日～8月14日(資料請求まで)

キャンペーン特典

特典1 フィレンツェ歌

劇場「トゥーランドット」

県民ホール公演舞台総

稽古見学ご招待(抽選

で10名様)

特典2 県民ホール「パイ

プオルガン・クリスマス・

コンサート」友の会特別

価格にてご提供

特典3 初年度年会費無料(次年度から自動引落)

詳しくは友の会事務局までキャンペーン資料をご請求ください。

お問い合わせ・資料請求

〒231-0023横浜市中区山下町3-1

(財)神奈川芸術文化財団 友の会事務局

TEL045-633-3763 10時～17時



フィレンツェ歌劇場

神奈川フィルハーモニー管弦楽団
新規定期会員募集

神奈川フィルでは新規マイ・フェイヴァレット会員(好きな5公演を選択)のご入会を受付けています。シルバー会員割引やペア入会割引、リハーサル公開見学などの特典も充実。この機会に是非ご入会ください。

定期会員特典

特典1 特別演奏会、当団主催公演20%割引

特典2 ご来場いただけない場合、ご希望の主催公演と交換

特典3 ハンパニフィックホテル宿泊料金最大50%割引

特典4 定期演奏会の本番会場で行うリハーサル公開を見学

お問い合わせ・資料請求

〒240-0017横浜市保土ヶ谷区花見台4番2号

神奈川フィル・チケットサービス

TEL045-331-6699 (平日10時～18時)

http://www.kanaphil.com/

Yokohama HOOD!#6

～ストリートミュージシャン

フェスティバル横浜～出場者募集



ファイナル会場は横浜BLITZ!!

1曲勝負の世代別コンテスト!!

全員参加型ライブコンテスト

募集期間

平成18年6月1日～8月12日(消印有効)

テープ審査通過者ミーティング

9月9日(土)10:30～

セミファイナル(会場:かながわアートホール)

10月28日(土)29日(日)

ファイナル(会場:横浜BLITZ)

12月3日(日)

エントリーは無料。但し、テープ審査を通過したセミファイナル進出者、ファイナル進出者については、別途、参加負担金あり。

Yokohama HOOD!の魅力

オリジナル・コピー不問

世代別コンテスト!グランプリも世代別各1組選出!

応募資格・方法の詳細

http://www.arcsnip.jp/lyh/

お問合せ

NPO法人ARCSHIP(アークシップ)

TEL045-243-2247または

神奈川県文化課ヨコハマフード参加者募集係

TEL045-210-3808

P.5にも、その他参加者募集のお知らせがあります。

神奈川県民ホール小ホールご利用の
車椅子のお客様へ

車椅子をご利用されて小ホールへお越しのお客様には、設備面で大変ご不便をおかけしておりますが、ご鑑賞の際、支障がないよう、係りの者がお席までご案内させていただきます。ご来館の折には、お気軽にお申し付けくださるようお願いいたします。



神奈川県

県民部文化課 文化企画班 電話(045)210-3804(直通) FAX(045)210-8840
横浜市中区日本大通1丁目231-8588 電話(045)210-4111(代)内線3804～3807